

鼠径ヘルニアの手術を受けられる患者様へ

ID: @PATIENTID

患者氏名 (@PATIENTNAME 様)

担当医師 ()

受持ち看護師 ()

経過	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	1日目	2日目	3日目
達成目標	落ち着いた気持ちで手術を受けましょう 発熱などの風邪症状がないようにしましょう	前日までと異なる症状なく手術を受けることができます	痛み出現時、薬使用にて軽減することが出来ます 麻酔から覚めて症状が落ち着いています	創に出血や感染などの異常がみられない 痛み出現時、薬使用にて軽減することが出来る 歩行することが出来る	病棟内を歩行することができます 創に出血や感染等の異常が見られない	痛みのコントロールできる 創部の異常が見られない 退院後の生活に不安が見られない
治療		術後の深部静脈血栓症予防の為 手術室へ行く前に弾性ストッキングを着用します	手術後、心電図、酸素マスクをつけます 機械により足のマッサージを行います	朝、心電図をはずします ガーゼ交換をします 創部に防水の絆創膏を貼ります		
処置	手術する部分をきれいにします		点滴があります 			
薬剤	今まで飲んでた薬があれば 医師の指示に従って下さい 夜9時に下剤を飲みます		痛みが強い時は痛み止めを使います	傷の痛みがある時、眠れない時には薬を飲みます 看護師へお聞き下さい		
検査		手術は、時 分頃からです				
安静度	病院内自由です 病棟外にでられる時は看護師に声をかけて下さい 	術衣 T字帯に着替えて手術室に行きます	ベット上安静です 	病院内自由です (初めて歩く時は看護師が付き添います) 		
栄養	夕食まで食事がとれます 水分が飲める時間は 看護師がお伝えします 	水や食事をとることは出来ませんが うがいはできます 		医師の診察後、食事が始まります 		
清潔	手術する部分の毛をそった後に入浴して下さい 			創部に防水の絆創膏を貼り シャワー浴が出来ます		
排泄			麻酔がかかった後に尿の管が入ります	朝、診察後尿の管がとれ トイレに行けます		
教育指導説明	主治医及び麻酔科医が手術や麻酔について説明します 手術室看護師が訪問します			ご本人に手術の結果の説明をします 	退院後の生活について、以下の点に注意しましょう ・腹部に力が入らないように、重たい荷物は持たないようにしましょう(4週間程度) ・排泄時に腹部に力をかけないようにするために、便秘にならないようにしましょう(十分な水分摂取、軽い運動を行いましょう。下剤の使用は主治医へ相談して下さい) ・創部より出血、腫れ、強い痛みがある場合には病院へ連絡してください	